

成長発達歯科医学と障害者の歯科治療 (TxChild : Treatment of the Child and Adolescent)

責任者・コーディネーター	口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野） 間山 寿代准教授（主） 口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野） 熊谷 美保准教授 口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野） 佐藤 和朗教授			
担当講座（分野）	口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野）、口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野）、生化学講座（細胞情報科学分野）、医療工学講座			
対象学年	4	区分・時間数	講義/演習	実習
期間	後期		前期	—
			後期	99.0時間 64.5時間

学修方針（講義概要等）

身体的及び精神的、社会的に発育過程にある小児の顎口腔領域の形態ならびに機能の発育を基礎とし、新生児期から成人に至るまでの顎口腔領域の成長発育を学ぶとともに、少子化や核家族化といった現代の日本の社会状況の面から考えるべき小児の保健や医療、社会のかかわりの意義について理解することを目的とする。また、障害児・障害者歯科において、ノーマライゼーションや障害全般に対する考え方を理解し、その対応法、全身麻酔下での治療を含めた歯科治療法について学修する。

歯科矯正学では、乳歯列期、混合歯列期、永久歯列期を問わず、各時期に応じ、伝統的な知識、検査診断法、治療法とともに、歯科学生に必要な最新の基礎知識、検査法、治療法について、問題志向型の教育を取り入れながら学修する。

教育成果（アウトカム）

講義：小児の心身の発育と歯列咬合の成長発育、小児・障害児・障害者への対応法、診査・診断・治療法、ならびに不正咬合の診査・診断・治療について系統的に講義を行うことにより、成長発達期の歯科医療、矯正歯科治療、障害者への治療を実践できる医療プロフェッショナルの基盤を形成することができる。また、小児齲蝕の病因論、小児と歯科保健医療について実績のある外部講師を招いて講義を行う。これらにより小児の齲蝕の特徴や小児歯科医療への責務に対する考え方を深めることができる。

実習：小児の歯科診療に必須で高頻度に行われる治療法を学ぶことで知識・技術が身につく。実習中の教員との関りや口頭試問を経験することで良好なコミュニケーションスキルが学修できる。また、症例分析や症例検討会等のグループ作業により周囲と協調することの重要性を認識することで、将来の歯科医師として、自己のあるべき態度に気付くことができる。

（関連するディプロマポリシー：1、2、3、4、5、6、8、9）

到達目標（SBOs）

1. 小児歯科学の目的と小児歯科医療の特徴を説明できる。
2. 障害者歯科学の目的と障害者歯科医療の特徴を説明できる。
3. 障害の概念や種類を記述できる。
4. 歯科矯正学の目的と矯正歯科治療の必要性を説明できる。
5. 身体の成長発育、歯列・咬合の発育を説明できる。
6. 不正咬合の種類、原因と治療法を列記できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し、教科書や講義ノート、Webclass資料等を用いて事前学修（予習）を行うものとし、各授業最低30分以上を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。各授業に特記された事前学修項目がある場合は、その内容に従うものとする。授業や実習においてレポートが課された場合は、提出後、評価の上返却する。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	9/26 (木)	1	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	歯科矯正学概論 学習内容と歯科医学における歯科矯正学の役割を理解する。	1. 歯科矯正学の目的を説明できる。 2. 歯科矯正学の成り立ちについて説明できる。 3. 歯科矯正学の目的について説明できる。 4. 歯科矯正学の役割について説明できる。 [D-5-5-1] 歯科矯正学に関する事前学修：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
講義	9/26 (木)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	頭蓋顎顔面と全身の成長発育 頭蓋顎顔面と全身の成長発育について理解する。	1. 脳頭蓋の成長発育を説明できる。 2. 顔面頭蓋の成長発育を説明できる。 3. 成長の評価について説明できる。 4. 全身成長と頭蓋顎顔面の関連について説明できる。 [A-2-2-1、A-2-4-1、A-2-4-5、A-3-1-2-1~4]
講義	9/26 (木)	3 4	森川和政非常勤講師 (九州歯科大学歯学部教授)	小児歯科学概論 小児の心身の発育 小児歯科医療の特徴を理解する。 小児の成長発育を理解する。	1. 成長、発達、発育の意味の違いを説明できる。 2. 成長・発育に影響する因子を列挙できる。 3. 小児の年齢を正しく評価できる。 4. 小児の身体的発育を正しく評価できる。 5. 小児の精神発達段階を説明できる。 6. 小児の生理的特徴を理解できる。 [A-2-2-1、2]
講義	9/27 (金)	1	森川和政非常勤講師 (九州歯科大学歯学部教授)	歯列・咬合の発育 (1. 乳歯列期) 歯齡ⅡCまでの歯列および咬合の発育を理解する。	1. 生理的歯間空隙とその意味を説明できる。 2. ターミナルプレーンを理解し、その臨床的意味を説明できる。 3. 乳歯列の咬合の特徴を列挙できる。 4. 第一大臼歯の萌出を説明できる。 [A-2-4-5]

講義	9/27 (金)	2	森川和政非常勤講師 (九州歯科大学歯学部教授)	歯列・咬合の発育 (2. 歯の交換) 歯列および咬合の発育を歯の交換の観点から理解する。	1. 切歯交換期の特徴を説明できる。 2. 側方歯群交換期の特徴を説明できる。 3. リーウェイスペースを理解し、その臨床的意味を説明できる。 [A-2-4-5]
講義	9/27 (金)	3	飯塚康之助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正模型の分析 矯正診断用の模型の分析の意義・分析法について理解する。	1. 模型分析の意義を説明できる。 2. 咬合分類について説明できる。 3. 上下顎咬合状態を説明できる。 4. 計測項目を説明できる。 [D-5-5-3]
講義	9/27 (金)	4	飯塚康之助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	エックス線診査と分析 エックス線セファロ写真と機能分析について理解する。	1. エックス線セファロ写真の分析と評価ができる。 2. 各種機能検査について説明できる。 [D-5-5-3、D-5-5-3]
講義	9/30 (月)	1	森川和政非常勤講師 (九州歯科大学歯学部教授)	歯の発育・萌出と異常 歯の発育と萌出ならびにその障害を理解する。	1. 歯の発育時期と萌出時期を説明できる。 2. 乳歯の萌出順序を説明できる。 3. 永久歯の萌出順序を説明できる。 4. 歯の萌出異常について説明できる。 5. 歯の形成障害の原因を述べることができる。 6. 歯数の異常について説明できる。 7. 形態の異常について説明できる。 8. 構造の異常について説明できる。 9. 色調の異常について説明できる。 [A-3-4-1, 2, 3, 4, 5, 6]
講義	9/30 (月)	2	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	乳歯とその特徴 小児患者の診療方針立案 乳歯とその特徴を理解する。 小児患者の診査法、診断法、診療計画法を理解する。	1. 乳歯の形態的特徴を列挙できる。 2. 乳歯の組織学的特徴を列挙できる。 3. 乳歯の物理的、化学的特徴を列挙できる。 4. 乳歯根の吸収を説明できる。 5. 小児歯科診療に必要な問診内容が説明できる。 6. 全身的な診査の内容が説明できる。 7. 口腔内診査の項目を列挙して説明できる。 8. 治療的計画の基本的原則を列挙し説明できる。 9. 乳歯、幼若永久歯の齲蝕治療方針の原則を説明できる。 10. 治療方針の立案法を説明できる。 [A-3-4-2, 4, D-2-1-2, D-2-2, D-2-3-8]

演習	9/30 (月)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科臨床における 診断学/診断・治療計画 の立案 I 矯正臨床における診断 の特徴と目的について 理解する。	1. 診断に対する基本的理念を説明 できる。 2. 矯正臨床における診断の特徴と 目的を説明できる。 3. 矯正歯科臨床に必要な医療面接 と診療に対する具体的な方法を説明 できる。 4. 医療面接と診療から得られた情 報を診断に反映できる。 [D-5-5-3]
演習	9/30 (月)	4	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	診断・治療計画の立案 I (症例分析演習) 診察・検査・分析によ り得られるデータを統 合し、症例の治療目 標・計画および予後 を設定することができる ようになる。	1. 口腔内や顔貌の診察・評価方法 を説明できる。 2. 模型分析の意義と内容が説明で きる。 3. エックス線分析の意義と内容が 説明できる。 4. 治療目標を設定できる。 5. 治療計画の立案ができる。 6. 予後を推定できる。 [D-5-5-3]
演習	10/1 (火)	1	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	診断・治療計画の立案 II (症例分析演習) 診察・検査・分析によ り得られるデータを統 合し、症例の治療目 標・計画および予後 を設定することができる ようになる。	1. 口腔内や顔貌の診察・評価方法 を説明できる。 2. 模型分析の意義と内容が説明で きる。 3. エックス線分析の意義と内容が 説明できる。 4. 治療目標を設定できる。治療計 画の立案ができる。 5. 予後を推定できる。 [D-5-5-3]
演習	10/1 (火)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	診断・治療計画の立案 III (症例分析演習) 診察・検査・分析によ り得られるデータを統 合し、症例の治療目 標・計画および予後 を設定することができる ようになる。	1. 口腔内や顔貌の診察・評価方法 を説明できる。 2. 模型分析の意義と内容が説明で きる。 3. エックス線分析の意義と内容が 説明できる。 4. 治療目標を設定できる。治療計 画の立案ができる。 5. 予後を推定できる。 [D-5-5-3]
講義	10/1 (火)	3	菊池和子講師 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害 者歯科学)	知的能力障害 I 知的能力障害ごとの特 徴、歯科治療法につ いて理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 知的能力障害 2. Down症候群などの先天異常 [D-5-8-1, 2, 3, 4] 事前学修：教科書p40～p47を読んで おく。
講義	10/1 (火)	4	菊池和子講師 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害 者歯科学)	知的能力障害 II 知的能力障害ごとの特 徴、歯科治療法につ いて理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 自閉スペクトラム症 2. 学習障害 [D-5-8-1, 2, 3, 4] 事前学修：教科書p48～p57を読んで おく。

講義	10/2 (水)	3	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児患者への対応法 小児患者への正しい対応法を理解する。	1. 小児の恐れや不安の情動の対象を列挙できる。 2. 小児の情動に配慮した診療を説明できる。 3. 小児の年齢に応じた対応法を説明できる。 4. 行動変容法を説明できる。 5. 強制治療の持つ意味を説明できる。 6. 小児への笑気吸入鎮静法の利点と欠点を列挙できる。 7. 小児への様々な対応法の利点と欠点を列挙できる。 [A-2-2-2、D-2-1-1, 2, 3、D-2-1-2-1, 2, 3]
講義	10/2 (水)	4	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児の齲蝕と予防 小児齲蝕の特徴を知り、正しい対応法を理解する。	1. 乳歯齲蝕の特徴を列挙できる。 2. 乳歯齲蝕を疫学的に説明できる。 3. 乳歯齲蝕の臨床的分類を説明できる。 4. 乳歯重症齲蝕の為害作用を説明できる。 5. 小児齲蝕の発生過程を説明できる。 6. 各段階に対する理論的な対応法を説明できる。 7. 各段階に対する臨床的な対応法を説明できる。 [D-5-1-1、D-5-6-1]
講義	10/3 (木)	1	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正力と顎整形力 矯正力と顎整形力について理解する。	1. 矯正力の種類を列挙できる。 2. 矯正力の大きさを分類できる。 3. 矯正力の作用様式を説明できる。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。 [D-5-5-3]
講義	10/3 (木)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正治療に必要な器械・器具 治療を行う際に必要な器械・器具の使用目的、使用方法を理解する。	1. 矯正治療に用いる器械・器具を列挙できる。 2. 矯正治療に用いる器械・器具の使用目的、名称および使用法を説明できる。 [D-5-5-4]
講義	10/3 (木)	3	久慈昭慶准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	障害者歯科学概論 障害者および障害者と歯科医療の関わりを理解する。	1. 障害者の歴史、定義および実態を説明できる。 2. 障害者の医療、障害者歯科学の定義、困難性、対象患者について説明できる。 [GE-05、IP-03] 事前学修：教科書p2～p37を読んでおく。

講義	10/3 (木)	4	久慈昭慶准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	障害者の麻酔 障害者に多用される日帰り麻酔とその他の全身麻酔の違いを理解する。	1. 障害者の麻酔法の特徴を説明できる。 2. 障害者歯科における全身麻酔の役割を説明できる。 [D-1-2-3-1, 2, 3] 事前学修：臨床歯科麻酔学p312～p320を読んでおく。
講義	10/4 (金)	1	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	齲蝕の予防と進行抑制 齲蝕の予防法と進行抑制法を臨床に則して理解する。	1. Stephanカーブの持つ意味を説明できる。 2. 歯口清掃指導の原則を列挙できる。 3. 哺乳と哺乳ビン齲蝕を関係づけて説明できる。 4. 薬物局所応用とその基本理論を説明できる。 5. フッ化物の局所応用法について、具体的に述べるができる。 6. 歯磨剤・洗口剤について説明できる。 7. フッ素の齲蝕予防機序を述べるができる。 8. フッ素の毒性について説明できる。 9. シーラントの術式と予後について説明できる。 [D-5-1, 2, 3, 4]
講義	10/4 (金)	2	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	不正咬合の原因 (1. 先天的原因) 不正咬合を引き起こす様々な先天的原因について理解する。	1. 先天的原因と後天的原因の違いについて説明できる。 2. 先天異常により生じる不正咬合および口腔内所見の異常について説明できる。 3. 不正咬合の原因となる事項を列挙できる。 [D-5-5-3]
講義	10/4 (金)	3	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	不正咬合の原因 (2. 後天的原因) 不正咬合の予防 不正咬合を引き起こす様々な後天的原因と不正咬合の予防について理解する。	1. 先天的原因と後天的原因の違いについて説明できる。 2. 先天異常により生じる不正咬合および口腔内所見の異常について説明できる。 3. 不正咬合の原因となる事項を列挙できる。 4. 予防矯正と抑制矯正の概念が説明できる。 5. 不正咬合の原因と結び付けてその予防法を説明できる。 [D-5-5-3]
	10/4 (金)	4	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	自主学習 (出席確認なし)	

	10/7 (月)	1	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	自主学習 (出席確認なし)	
試験	10/7 (月)	2	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児歯科学 中間試験	
講義	10/7 (月)	3	菊池和子講師 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	症候群 I 知的能力障害、咬合異常、全身疾患を有する主な症候群を説明できる。	以下の項目について説明できる。 1. 常染色体異常 2. 性染色体異常 3. 皮膚、神経の異常 [D-3-1-1] 事前学修：教科書p167～p200を読んでおく。
講義	10/7 (月)	4	菊池和子講師 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	症候群 II 知的能力障害、咬合異常、全身疾患を有する主な症候群を説明できる。	以下の項目について説明できる。 1. 小下顎症 2. 皮膚、毛髪、爪の異常 3. 骨格の異常 [D-3-1-1] 事前学修：教科書p167～p200を読んでおく。
講義	10/8 (火)	1	石崎 明教授 (生化学講座 細胞情報科学分野) 佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正力による生体反応/ 偶発症 矯正歯科治療によって起こる生体反応について理解する。	1. 矯正力による歯、歯周組織の反応を説明できる。 2. 歯の移動に伴う骨改造について説明できる。 3. 適切な矯正力による生体反応の評価を説明できる。 4. 矯正治療により起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。 5. 矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。 [A-1-5-2、D-5-5-5]
講義	10/8 (火)	2	武本真治教授 (医療工学講座) 佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正用材料・接着材 矯正材料と理工学的性質について理解する。	1. 矯正臨床の材料として具備すべき条件を説明できる。 2. 各種線材料の機械的特性を説明できる。 3. 接着材の材料特性と接着機構を説明できる。 [B-1-2、B-1-3、B-2-4]
講義	10/8 (火)	3	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	抜歯と固定 I 矯正治療における抜歯と固定の必要性を理解する。	1. 抜歯の目的、適応症について説明できる。 2. 適切な抜歯部位を選択できる。 3. 抜歯の判定基準を理解し説明できる。 4. 連続抜去法について説明できる。 5. 固定の概念と種類を説明できる。 [D-5-5-3]

講義	10/8 (火)	4	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	抜歯と固定Ⅱ 矯正治療における抜歯と固定の必要性を理解する。	1. 抜歯の目的、適応症について説明できる。 2. 適切な抜歯部位を選択できる。 3. 抜歯の判定基準を理解し説明できる。 4. 連続抜去法について説明できる。 5. 固定の概念と種類を説明できる。 [D-5-5-3]
講義	10/9 (水)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置① 器械的矯正装置 器械的矯正装置の種類、構造、特徴について理解する。	1. 器械的矯正装置の基本的条件および分類について説明できる。 2. 器械的矯正装置の構造を説明できる。 3. 器械的矯正装置の力系を説明できる。 4. 各装置の使用目的を説明できる。 [D-5-5-4]
講義	10/9 (水)	2	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置② 機能的矯正装置 機能的矯正装置の種類、構造、特徴について理解する。	1. 機能的矯正装置の基本的条件について説明できる。 2. 機能的矯正装置の構造を説明できる。 3. 機能的矯正装置の力系を説明できる。 4. 各装置の使用目的を説明できる。 [D-5-5-4]
講義	10/9 (水)	3	熊谷美保准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	運動障害Ⅰ 運動障害ごとの特徴、歯科治療と予防法について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 脳性麻痺 [D-5-8-1, 2, 3, 4, E-5-7-1, 2] 事前学修：教科書p58～p67とp93～p105を読んでおく。
講義	10/9 (水)	4	熊谷美保准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	運動障害Ⅱ 運動障害ごとの特徴、歯科治療と予防法について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 筋ジストロフィー 2. 脊髄疾患 3. 慢性関節リウマチ [D-5-8-1, 2, 3, 4] 事前学修：教科書p67～p93を読んでおく。
	10/11 (金)	1	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	自主学習 (出席確認なし)	
試験	10/11 (金)	2	熊谷美保准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	障害者歯科学 中間試験	

講義	10/11 (金)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置③ マルチブラケット装置 マルチブラケット装置について理解する。	1. マルチブラケット装置を使用する目的を説明できる。 2. マルチブラケット装置を構成している各名称を列挙できる。 3. ブラケットの特徴を説明できる。 4. エッジワイズ法の基本手技を説明できる。 5. アーチワイヤーの屈曲について説明できる。 [D-5-5-4]
講義	10/11 (金)	4	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置④/保定 その他の装置/保定と保定装置 その他の矯正装置の種類、構造、特徴について説明できるようになる。さらに移動後の保定の必要性や後戻りについて理解する。	1. その他の矯正装置を列挙できる。 2. その他の矯正装置の構造を説明できる。 3. その他の矯正装置の力系を説明できる。 4. 保定の概念と種類を説明できる。 5. 保定期間について説明できる。 6. 不正咬合の再発および防止策について説明できる。 [D-5-5-4]
	10/15 (火)	1 2	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	自主学習 (出席確認なし)	
試験	10/15 (火)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科学 中間試験	
講義	10/15 (火)	4	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科学 中間試験解説講義	
講義	10/16 (水)	1	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	上顎前突、過蓋咬合の 治療 上顎前突と過蓋咬合の原因とその障害を認識し、それらの診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 上顎前突、過蓋咬合の症状を概説できる。 2. 上顎前突、過蓋咬合の原因を列挙できる。 3. 上顎前突、過蓋咬合による障害を列挙できる。 4. 上顎前突、過蓋咬合の治療に使用する装置を列挙できる。 5. 上顎前突、過蓋咬合の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/16 (水)	2	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	開咬の治療 開咬の原因とその障害を認識し、開咬の診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 開咬の症状を概説できる。 2. 開咬の原因を列挙できる。 3. 開咬による障害を列挙できる。 4. 開咬の治療に使用する装置を列挙できる。 開咬の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]

講義	10/16 (水)	3	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児の歯冠修復 小児の歯冠修復法とその特徴を理解する。	1. 局所麻酔法を具体的に述べることができる。 2. ラバーダム防湿の利点と欠点を列挙できる。 3. 小児の歯冠修復の目的を列挙できる。 4. 小児の歯冠修復の種類を列挙できる。 5. 乳歯窩洞形成時の注意事項を列挙できる。 6. コンポジットレジン充填の特徴を列挙できる。 7. インレー修復の特徴を列挙できる。 8. 既製冠修復の特徴を列挙できる。 9. コンポジットレジン冠の特徴を列挙できる。 [D-5-2-1-3、D-5-6-2, 3]
講義	10/16 (水)	4	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児の歯内療法 (1. 診断と治療法) 小児の歯内療法における診断と治療法を理解する。	1. 歯髄炎の診断法を説明できる。 2. 間接覆髄法について説明できる。 3. 直接覆髄法について説明できる。 4. 暫間的間接覆髄法について説明できる。 5. 生活歯髄切断法について説明できる。 [D-5-2-2-1, 2、D-5-6-4]
講義	10/17 (木)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	叢生の治療 叢生の原因とその障害を理解し、それらの診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 叢生の症状を概説できる。 2. 叢生の原因を列挙できる。 3. 叢生の障害を列挙できる。 4. 叢生に使用する装置を列挙できる。 5. ディスクレパンシー要因の症例に対する治療法を理解している。 6. 年齢に応じた叢生の治療計画を立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/17 (木)	2	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	上下顎前突の治療 上下顎前突の原因とその障害を理解し、それらの診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 上下顎前突の症状を概説できる。 2. 上下顎前突の原因を列挙できる。 3. 上下顎前突の障害を列挙できる。 4. 上下顎前突治療に使用する装置を列挙できる。 5. 年齢に応じた上下顎前突の治療計画を立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/17 (木)	3	久慈昭慶准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	障害者歯科の困難性の克服! 障害者歯科での困難性に対応する対処法を説明できる。	以下の項目について説明できる。 1. 行動管理 2. 医学的管理 [D-5-8-1, 2, 3, 4] 事前学習：教科書p208～p239を読んでおく。

講義	10/17 (木)	4	久慈昭慶准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	障害者歯科の困難性の克服II 障害者歯科での困難性に対応する対処法を説明できる。	以下の項目について説明できる。 1. 歯科治療における工夫・配慮 2. 口腔衛生管理 [D-5-8-1~4、E-2-1-2-3] 事前学修：教科書p239~p244とp277~p315を読んでおく。
講義	10/18 (金)	1	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	反対咬合の治療 反対咬合の原因とその障害を認識し、反対咬合の診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 反対咬合の症状を概説できる。 2. 反対咬合の原因を列挙できる。 3. 反対咬合による障害を列挙できる。 4. 反対咬合の治療に使用する装置を列挙できる。 5. 反対咬合の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/18 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	顎変形症の治療 顎変形症の原因と概要、治療方針について説明できるようになる。	1. 顎変形症を概説できる。 2. 顎変形症の原因を説明できる。 3. 顎変形症に対する外科的矯正治療のプロセスについて説明できる。 4. 顎変形症の術前、術後の矯正治療について説明できる。 5. 顎変形症に対する手術法を列挙できる。 [D-3-1-1-3]
講義	10/18 (金)	3	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児の歯内療法 (2. 臨床) 小児の歯内療法を臨床に則して理解する。	1. 水酸化カルシウム断髄法を具体的に述べるができる。 2. FC断髄法を具体的に述べるができる。 3. 乳歯の抜髄法について説明できる。 4. 乳歯の感染根管治療について説明できる。 5. 幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 6. ApexogenesisとApexificationの違いを述べるができる。 [D-5-2-2-2, 3、D-5-6-4]
講義	10/18 (金)	4	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児の軟組織と歯周組織疾患 小児の口腔軟組織、歯周組織疾患について理解する。	1. 口唇の疾患を列挙できる。 2. 舌の疾患を列挙できる。 3. 歯肉の疾患を列挙できる。 4. その他の部位の疾患を列挙できる。 5. 健全な歯周組織の特徴を列挙できる。 6. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。 7. 小児歯肉の疾患について述べることができる。 [D-3-1-1-4、D-3-1-4-1、D-5-6-5, 7]

講義	10/21 (月)	1	森川和政非常勤講師 (九州歯科大学歯学部教授)	小児の歯の外傷 小児の歯の外傷を理解する。	1. 歯の外傷の概要を説明できる。 2. 診査と診断について説明できる。 3. 外傷前歯の処置を具体的に述べるができる。 4. 外傷の分類について説明できる。 [D-3-1-2-1, 2、D-5-6-6]
講義	10/21 (月)	2	森川和政非常勤講師 (九州歯科大学歯学部教授)	小児虐待 歯科臨床において被虐待児に遭遇した際に適切な対応をするために、小児虐待の概要と被虐待児の特徴、歯科医師としての責務について理解する。	1. 児童虐待の定義を説明できる。 2. 児童虐待の徴候を説明できる。 3. 被虐待児の特徴を説明できる。 4. 虐待発見時の対応を説明できる。 [D-5-6-10]
講義	10/21 (月)	3	飯塚康之助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	交叉咬合の治療 交叉咬合の原因とその障害を認識し、交叉咬合の診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 交叉咬合の症状を概説できる。 2. 交叉咬合の原因を列挙できる。 3. 交叉咬合による障害を列挙できる。 4. 交叉咬合の治療に使用する装置を列挙できる。 5. 交叉咬合の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/21 (月)	4	熊谷美保准教授 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	摂食嚥下障害 摂食嚥下障害の特徴、歯科的特徴と訓練法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 摂食嚥下の発達を説明できる。 2. 摂食嚥下障害の特徴を説明できる。 3. 摂食嚥下障害の口腔内の特徴と歯科的治療法、予防法を説明できる。 4. 摂食嚥下障害での訓練法を説明できる。 [A-3-2-10、D-5-8-5] 事前学修：教科書p127～p146を読んでおく。
講義	10/22 (火)	3	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	咬合誘導 (1. 静的咬合誘導) 静的咬合誘導法を理解する。	1. 静的咬合誘導法の定義を述べることができる。 2. 乳臼歯早期喪失の影響を説明できる。 3. 乳前歯早期喪失の影響を説明できる。 4. 永久歯早期喪失の影響を説明できる。 5. 歯列、咬合の分析法を具体的に述べることができる。 6. 保隙の定義を述べることができる。 7. 固定保隙装置を説明できる。 8. 可撤式保隙装置を説明できる。 [D-5-6-8, 9]

講義	10/22 (火)	4	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	咬合誘導 (2. 動的咬合誘導) 動的咬合誘導法を理解する。	1. 動的咬合誘導法の定義を述べることができる。 2. 各デンタルステージにおける咬合誘導の目標を述べることができる。 3. 乳歯列期の咬合誘導を説明できる。 4. 永久歯萌出余地不足に対する処置法を述べることができる。 5. 混合歯列期の咬合誘導を説明できる。 6. 筋機能療法を説明できる。 7. 連続抜去法を説明できる。 8. 主な咬合誘導装置を列挙できる。 [D-5-6-8, 9]
講義	10/23 (水)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	口唇・口蓋裂の矯正治療、構音と鼻咽腔閉鎖不全 口唇・口蓋裂の病態と構音・鼻咽腔閉鎖不全について説明できるようになる。	1. 上口唇の発生と唇裂の発生機序について説明できる。 2. 顎裂・口蓋裂の発生機序について説明できる。 3. 口唇・口蓋裂が引き起こす咬合異常について説明できる。 4. 口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 [D-3-1-1-1、D-3-1-1-2]
講義	10/23 (水)	2	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療 睡眠時無呼吸症候群の病態と歯科的治療方針について理解する。	1. 睡眠時無呼吸症候群の症状を説明できる。 2. 睡眠時無呼吸症候群の特徴を説明できる。 3. 睡眠時無呼吸症候群の歯科的な対応法について説明できる。 [D-3-1-11-6]
	10/23 (水)	3 4	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	自主学習 (出席確認なし)	
講義	11/1 (金)	1	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	全身疾患を有する小児の治療 全身疾患を持つ小児の歯科治療について理解する。	1. 全身疾患を持つ小児の口腔内について述べることができる。 2. 小児科との係わり方を述べることができる。 [D-3-1-1-1]
	11/1 (金)	2		専門英語 専門英語の項を参照	
	11/6 (水)	1		専門英語試験 専門英語の項を参照	
講義	11/6 (水)	2	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	口腔習癖と治療 口腔習癖の種類とその影響を理解する。	1. 口腔習癖の種類とその影響を列挙できる。 2. 口腔習癖の処置法を述べることができる。 [D-5-6-8]

講義	11/6 (水)	3	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	小児の外科的処置 小児の抜歯ならびに薬物療法について理解する。	1. 乳歯抜去時の診査事項を列挙できる。 2. 乳歯抜去の適応症を列挙できる。 3. 乳歯抜去の禁忌症を列挙できる。 4. 乳歯抜去の前準備を具体的に述べることができる。 5. 乳歯抜去時のエックス線診査を説明できる。 6. 乳歯抜去時の注意事項を列挙できる。 7. 小児の薬理学的特性を説明できる。 8. 小児薬用量の算定法を説明できる。 9. 薬剤の投与方法を述べることができる。 10. 小児への投薬時の注意事項を列挙できる。 [D-5-4-1]
	11/6 (水)	4	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	自主学習 (出席確認なし)	
	11/8 (金)	1	間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	自主学習 (出席確認なし)	
講義	11/8 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	先天異常と不正咬合 先天異常により生じる口腔内の病態について説明できるようになる。	1. 先天異常により生じる不正咬合を説明できる。 2. 先天異常により生じる口腔内所見の異常を説明できる。 [D-3-1-10-5] *コースアンケート実施
講義	11/13 (水)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	歯科矯正学 最終試験解説講義	1. 自分の弱点を把握できる。 2. 今後の学習の仕方を考えることができる。 [D-4-5-1~6]

実習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
実習	10/2 (水)	1 2	橋口大補助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児患児へのラバーダム防湿・シーラント 小児の歯科治療に必須のラバーダム防湿法を修得する。 レジン系、グラスアイオノマー系シーラントの適応症と実際の手技を修得する。	1. 必要な器具を列挙できる。 2. クランプを正しく選択できる。 3. シートに適切な穴を開けることができる。 4. 複数歯にかけることができる。 5. フロス結紮ができる。 6. フレームを正しく装着することができる。 7. レジン系、グラスアイオノマー系シーラントの違いを説明できる。 8. 必要な器具を列挙できる。 9. ラバーダム防湿が的確にできる。 10. シーラントが的確に実施できる。 [E-5-1-1, 2、E-5-5-6]
実習	10/10 (木)	1 2	橋口大補助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	乳歯歯内療法 (生活歯髄切断) 生活歯髄切断法 水酸化カルシウム法とFC法の適応症の違いを理解し、その手技を習得する。	1. 必要な器具、薬品を列挙できる。 2. 水酸化カルシウム法とFC法の適応症を説明できる。 3. 水酸化カルシウム法の手技を正しく行うことができる。 [E-5-3-2-7]
実習	10/10 (木)	3 4	橋口大補助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	乳歯用既製金属冠 乳歯用既製金属冠(乳歯冠)の適応症を理解し、その作製法を習得する。	1. 適応症を説明できる。 2. 支台歯形成を的確に実施できる。 3. 必要な器具とその使用法を説明できる。 4. 大きさの選択・調整・適合を実施できる。 [E-5-3-1-4, 8、E-5-5-7]
実習	10/22 (火)	1 2	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断① 与えられた2課題の資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. エックス線セファロ写真の透写(tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6、E-5-4-1]

実習	10/24 (木)	1 2	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断② 与えられた2課題の資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. エックス線セファロ写真の透写(tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]
実習	10/24 (木)	3 4	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断③ 与えられた課題資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. エックス線セファロ写真の透写(tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]

実習	10/25 (金)	1 2	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断④ 与えられた課題資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. エックス線セファロ写真の透写(tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]
実習	10/25 (金)	3 4	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断⑤ 与えられた課題資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. エックス線セファロ写真の透写(tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]
実習	10/28 (月)	1 2	橋口大輔助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	保隙装置① クラウンループ 固定保隙装置(クラウンループ)の適応症を理解し、その作製法を習得する。 作業模型の咬合器装着操作を習得する。	1. 適応症を説明できる。 2. 作業模型の作製ができる。 3. ワイヤループの屈曲ができる。 4. 乳歯冠とワイヤーのろう着ができる。 5. 調整、研磨ができる。 6. 石膏模型を正確に咬合器に装着できる。 7. 作業模型の歯列状態を説明できる。 [D-5-6-9]

実習	10/28 (月)	3 4	橋口大補助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学分野)	保隙装置② クラウンループ 固定保隙装置（クラウ ンループ）の適応症を 理解し、その作製法を 習得する。 作業模型の咬合器装着 操作を習得する。	1. 適応症を説明できる。 2. 作業模型の作製ができる。 3. ワイヤループの屈曲ができ る。 4. 乳歯冠とワイヤーのろう着がで きる。 5. 調整、研磨ができる。 6. 石膏模型を正確に咬合器に装着 できる。 7. 作業模型の歯列状態を説明でき る。 [D-5-6-9]
実習	10/29 (火)	1 2	橋口大補助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学)	保隙装置③ 保護者への保隙装置の 説明 固定保隙装置（クラウ ンループ）についての 保護者・患児への説明 について理解する。	1. クラウンループの目的および適 応症を説明できる。 2. クラウンループの構造について 説明できる。 3. クラウンループの装着の目的に ついて説明できる。 4. 患児および保護者への注意事項 が説明できる。 [D-5-6-9]
実習	10/29 (火)	3 4	橋口大補助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学)	保隙装置④ 可撤保隙装置 可撤式保隙装置の意義 を理解し、その作製法 を習得する。	1. 可撤式保隙装置の目的および適 応症を説明できる。 2. 印象し作業模型の作製ができ る。 3. 作業模型を正しく咬合器に装着 できる。 4. 可撤式保隙装置の設計ができ る。 5. 人工歯の配列が的確に実施でき る。 6. 即時重合レジンの筆積み法がで きる。 7. 咬合調整、床の形態修整、研磨 ができる。 8. 患児および保護者への注意事項 が説明できる。 [D-5-6-9]
実習	10/30 (水)	1 2	橋口大補助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学)	保隙装置⑤ 可撤保隙装置 可撤式保隙装置の意義 を理解し、その作製法 を習得する。	1. 可撤式保隙装置の目的および適 応症を説明できる。 2. 印象し作業模型の作製ができ る。 3. 作業模型を正しく咬合器に装着 できる。 4. 可撤式保隙装置の設計ができ る。 5. 人工歯の配列が的確に実施でき る。 6. 即時重合レジンの筆積み法がで きる。 7. 咬合調整、床の形態修整、研磨 ができる。 8. 患児および保護者への注意事項 が説明できる。 [D-5-6-9]

実習	10/30 (水)	3 4	橋口大輔助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	乳前歯・乳臼歯の修復 レジン充填 レジン充填の適応症を理解し、その作製法を習得する。	1. 乳前歯・乳臼歯の解剖的形態の特徴を説明できる。 2. 齶蝕除去を的確に実施できる。 3. 歯面処理が実施できる。 4. レジン充填における隔壁の処置を的確に実施できる。 5. レジン充填の咬合調整・研磨を実施できる。 [E-5-3-1-2]
実習	10/31 (木)	1 2	橋口大輔助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	ブラッシング指導 ブラッシング指導を理解し、その手技を習得する。	ブラッシング指導 1. 小児の年齢にあった仕上げ磨きの方法を指導できる。 2. 適切な歯ブラシの選択方法を指導できる。 3. 様々な媒体を用いて指導ができる。 4. 分かりやすい言葉使いと聞き取りやすい話し方で説明できる。 5. プラークコントロールの目的を説明できる。 [E-5-5-1, 2, 4]
実習	10/31 (木)	3 4	橋口大輔助教 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学)	フッ化物塗布 フッ化物塗布を理解し、その手技を習得する。	フッ化物塗布 1. 歯面清掃を適切に行うことができる。 2. 簡易防湿を行うことができる。 3. 患者に配慮した器材の操作ができる。 4. 指定された部位に塗布を行うことができる。 5. 清潔に配慮した操作ができる。 6. フッ化物塗布時の保健指導ができる。 [E-5-5-3, 5]
実習	11/1 (金)	3 4	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断⑥ 与えられた2課題の資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. エックス線セファロ写真の透写(tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]

実習	11/5 (火)	1 2	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	ダイレクトボンディング① (タイポドント実習) ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着とワイヤー装着を実施することで歯の移動のメカニズムが説明できるようになる。	以下の項目について説明または実施できる。 1. マルチブラケット装置の構造 2. ブラケットポジションの設定 3. ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着 4. 歯の移動状態の観察と移動のメカニズムの考察 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5]
実習	11/5 (火)	3 4	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	ダイレクトボンディング② (タイポドント実習) ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着とワイヤー装着を実施することで歯の移動のメカニズムが説明できるようになる。	以下の項目について説明または実施できる。 1. マルチブラケット装置の構造 2. ブラケットポジションの設定 3. ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着 4. 歯の移動状態の観察と移動のメカニズムの考察 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5]
実習	11/7 (木)	1 2 3	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	ダイレクトボンディング③ (タイポドント実習) ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着とワイヤー装着を実施することで歯の移動のメカニズムが説明できるようになる。	以下の項目について説明または実施できる。 1. マルチブラケット装置の構造 2. ブラケットポジションの設定 3. ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着 4. 歯の移動状態の観察と移動のメカニズムの考察 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5]
実習	11/8 (金)	3 4	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例検討会 (3階SGL使用) 具体的な治療計画を立案し、発表できるようになる。	1. 適切な治療計画を立案できる。 2. 症例の概要を適切に説明できる。 3. 治療計画を説明できる。 4. 適切に質疑に答えることができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5] 事前学習：立案した治療計画のプレゼンテーションの仕方を考える。

コース最終試験

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
	11/11 (月)	1	障害者歯科学	コース最終試験	
	11/12 (火)	1	小児歯科学	コース最終試験	
	11/12 (火)	2	小児歯科学	コース最終試験	
	11/13 (水)	1	歯科矯正学	コース最終試験	
	11/13 (水)	2	歯科矯正学	コース最終試験	

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
----	-----	-----	-----	-----

歯科矯正学分野

教	歯科矯正学 第6版	飯田順一郎、葛西一貴 ほか編	医歯薬出版	2019年
参	矯正歯科臨床ヒント集 (カラーアトラスハンドブック)	三浦廣行、葛西一貴、 氷室利彦編	クインテッセンス出版	2004年
参	混合歯列期の矯正歯科治療	後藤滋巳ほか編	医歯薬出版	2002年
推	プロフィットの現代歯科矯正学 新版	William R. Proffit 著、高田健治訳	クインテッセンス出版	2004年

小児歯科学分野

教	小児歯科学 第6版	白川哲夫ほか編	医歯薬出版	2023年
参	小児の口腔科学 第6版	朝田芳信ほか著	学建書院	2023年
参	小児歯科学ベーシックテキスト 第3版	新谷誠康 編	永末書店	2023年

障害者歯科学分野

教	スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科 第2版	日本障害者歯科学会 編集	医歯薬出版	2017年
参	歯科麻酔学 第8版	福島和昭 監修	医歯薬出版	2019年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義、実習のいずれとも合格したものを合格とする。

講義 (65点以上を合格)

各分野において中間試験、コース最終試験の総合評価とする。

講義で行われる小テスト、講義態度についても評価を行う。

小テスト、中間試験については、講義やWebClassを通して解説を行う。

実習 (65点以上を合格)

知識 (実習内容の理解)、技能 (実習中の手技、提出物)、態度 (身だしなみ、礼節のある行動、真摯な取り組み) 評価、レポート、コース実習試験の総合評価とする。レポートについては、レポート返却時に個別にコメントする。

備考：実習を行わない障害者歯科学分野の評価は、中間試験、コース最終試験の総合評価65点以上を合格とする。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、必要に応じ各講義・実習時間内に講義・実習内容に関して担当教員とのディスカッションを行う。また、講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用し理解度を確認することがある。講義資料は必要に応じてWebClassにアップする。

また学生参加型講義を実施するために、過去の国試問題をWebClass上に設定する、DESSの活用、または講義ノート等に組み込む。

各学生は事前学習教材を事前に予習した上で、各講義・演習および解説講義に臨むこと。講義終了後は、教科書や事前学習教材を利用し事後学習を必ず行うこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン・一式	VPCL138FJ/S	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料作成
カラーレーザープリンタ	LBP9950Ci	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料印刷
ノートパソコン・一式	SVP132A1CN	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示
電子辞書	SR-A10001M	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
デスクトップパソコン・Mac mini	2.0GHzQuadCore i 7/4GB	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション 授業のデモ
口腔内撮影用コンパクトデジタルカメラ・オーラルショットIV		1	基礎実習・臨床実習用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
デスクトップパソコン Mate 一式	PC-MK32MEZDC8CGL4B61	1	視聴覚用機器	講義資料の作成
デスクトップパソコン	PD732V9GBHW	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
ノートパソコン一式 MacBook Air	MD232JA	1	基礎実習・研究用機器	講義のプレゼン及び研究 データ解析用
iPad Wi-Fi64GB 一式	iPad Wi-Fi64GB 一式	1	基礎実習・研究用機器	講義のプレゼン及び研究 データ解析用
ノートパソコン	PR632GEAR33A3H	1	基礎実習・研究用機器	講義のプレゼン及び研究 データ解析用
デスクトップパソコン一式	SVL24139CJB	1	基礎実習・研究用機器	講義のプレゼン及び研究 データ解析用
ノートパソコン	SVP13219DJB	2	基礎実習・研究用機器	講義のプレゼン及び研究 データ解析用
ノートパソコン MacBook Air	MD712JA	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示
ノートパソコン・Mac mini	MACMINI 1.4GHz	1	基礎実習・研究用機器	実習、講義の資料作成用
液晶ディスプレイ・Thunderbolt27インチ	MC914JB	1	基礎実習・研究用機器	実習、講義の資料作成用
ノートパソコン・MacBookAir	KAI11カスタマイズ	1	基礎実習・研究用機器	実習、講義の資料作成用
複合機 Canon imageRUNNER ADVANCE C3320F 一式	C3320F	1	基礎実習・研究用機器	実習、講義の資料作成用
ノートパソコン	PCNM550MAB	1	視聴覚用機器	講義のプレゼンテーション 用
ノートパソコン dynabook	PT95FGP-BEA2	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用機器	講義の資料作成及び研究 データ解析用
歯科用重合用光照射器ペンキュアー	VL-7	8	基礎実習・研究用機器	実習用

「成長発達歯科医学と障害者の歯科治療」全8週

Treatment of the Child and Adolescent (2024年 9/26~11/13)

コース責任者：(主) 間山寿代、熊谷美保、佐藤和朗

Week	Purpose	講義	実習 (コマ数)
1-2	小児・矯正・障害者歯科概論/各論/小児歯科実習	25	2
3	各科各論/中間試験(小児歯科)(障害)/小児歯科実習	14	4
4	各科各論/中間試験(矯正歯科)	14	0
5	小児歯・障害者・矯正各論/矯正診断学実習	8	10
6	小児歯科各論/矯正歯科診断学実習	1	18
7	小児歯科・矯正歯科実習	3	9
8	実習試験/最終試験 / *	1	0

* コースアンケート実施

合計 66 43 (コマ)

(内規: 講義・実習 2/3以上出席) 受験資格有り 44 28 (コマ)

Week 1

				9/26(木)	9/27(金)
1				歯科矯正学概論 (矯正・佐藤和朗)	歯列・咬合の発育 (1. 乳歯列期) (小児・非常勤講師 森川和政)
2				頭蓋顎顔面と全身 の成長発育 (矯正・佐藤和朗)	歯列・咬合の発育 (2. 歯の交換) (小児・非常勤講師 森川和政)
3				小児歯科学概論 小児の心身の発育	矯正模型の分析 (矯正・飯塚康之)
4				(小児・非常勤講師 森川和政)	エックス線診査と 分析 (矯正・飯塚康之)

Week 2

	9/30(月)	10/1(火)	10/2(水)	10/3(木)	10/4(金)
1	歯の発育・萌出と異常 (小児・非常勤講師 森川和政)	診断・治療計画の立案Ⅱ (症例分析) (矯正・佐藤和朗)	小児患者へのラバーダム防湿シーラント (小児・齊藤桂子)	矯正力と顎整形力 (矯正・佐藤和朗)	齲蝕の予防と進行抑制 (小児・橋口大輔)
2	乳歯とその特徴 小児患者の診療方針立案 (小児・橋口大輔)	診断・治療計画の立案Ⅲ (症例分析) (矯正・佐藤和朗)		矯正治療に必要な器械・器具 (矯正・佐藤和朗)	不正咬合の原因(先天的原因) (矯正・間山寿代)
3	矯正歯科臨床における診断学/診断・治療計画の立案Ⅰ (矯正・佐藤和朗)	知的能力障害Ⅰ (障歯・菊池和子)	小児患者への対応法 (小児・齊藤桂子)	障害者歯科概論 (障歯・久慈昭慶)	不正咬合の原因(後天的原因)・予防 (矯正・間山寿代)
4	診断・治療計画の立案Ⅰ (症例分析) (矯正・佐藤和朗)	知的能力障害Ⅱ (障歯・菊池和子)	小児の齲蝕と予防 (小児・齊藤桂子)	障害者の麻酔 (障歯・久慈昭慶)	自主学習 (出席確認なし)

Week 3

	10/7(月)	10/8(火)	10/9(水)	10/10(木)	10/11(金)
1	自主学習 (出席確認なし)	矯正力による生体反応/偶発症 (生化・石崎 明) (矯正・佐藤和朗)	矯正装置① (器械的矯正装置) (矯正・桑島幸紀)	乳歯歯内療法 (生活歯髄切断) (小児・齊藤桂子)	自主学習 (出席確認なし)
2	小児歯科中間試験 (小児・齊藤桂子)	矯正用材料・接着材 (医療工学・武本真治) (矯正・佐藤和朗)	矯正装置② (機能的矯正装置) (矯正・桑島幸紀)		障害者歯科中間試験 (障歯・熊谷美保)
3	症候群Ⅰ (障歯・菊池和子)	抜歯と固定 (矯正・桑島幸紀)	運動障害Ⅰ (障歯・熊谷美保)	乳歯用既製金属冠 (小児・齊藤桂子)	矯正装置③ (マルチブラケット装置) (矯正・佐藤和朗)
4	症候群Ⅱ (障歯・菊池和子)		運動障害Ⅱ (障歯・熊谷美保)		矯正装置④と保定 (矯正・佐藤和朗)

Week 4

	10/14(月)	10/15(火)	10/16(水)	10/17(木)	10/18(金)
1	スポーツの日	自主学習 (出席確認なし)	上顎前突、過蓋咬合の治療 (矯正・間山寿代)	叢生、上下顎前突 (矯正・桑島幸紀)	反対咬合の治療 (矯正・佐藤和朗)
2		自主学習 (出席確認なし)	開咬の治療 (矯正・間山寿代)		顎変形症の治療 (矯正・佐藤和朗)
3		矯正歯科 中間試験 (佐藤和朗)	小児の歯冠修復 (小児・齊藤桂子)	障害者歯科の困難性の克服Ⅰ (障歯・久慈昭慶)	小児の歯内療法 (2.臨床) (小児・齊藤桂子)
4		矯正歯科 中間試験解説 (佐藤和朗)	小児の歯内療法 (1.診断と治療法) (小児・齊藤桂子)	障害者歯科の困難性の克服Ⅱ (障歯・久慈昭慶)	小児の軟組織と歯周組織疾患 (小児・齊藤桂子)

Week 5

	10/21(月)	10/22(火)	10/23(水)	10/24(木)	10/25(金)
1	小児の歯の外傷 (小児・非常勤講師 森川和政)	症例分析と診断① (矯正・佐藤和朗)	口唇・口蓋裂の矯正治療、構音と鼻咽腔閉鎖不全 (矯正・桑島幸紀)	症例分析と診断② (矯正・佐藤和朗)	症例分析と診断④ (矯正・佐藤和朗)
2	小児虐待 (小児・非常勤講師 森川和政)		睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療 (矯正・桑島幸紀)		
3	交叉咬合の治療 (矯正・飯塚康之)	咬合誘導 (1. 静的咬合誘導) (小児・橋口大輔)	自主学習 (出席確認なし)	症例分析と診断③ (矯正・佐藤和朗)	症例分析と診断⑤ (矯正・佐藤和朗)
4	摂食嚥下障害 (障歯・熊谷美保)	咬合誘導 (2. 動的咬合誘導) (小児・橋口大輔)	自主学習 (出席確認なし)		

Week 6

	10/28(月)	10/29(火)	10/30(水)	10/31(木)	11/1(金)
1	クラウンループ 保隙装置 (小児・齊藤桂子)	保護者への保隙 装置の説明 (小児・齊藤桂子)	可撤保隙装置 (小児・齊藤桂子)	保護者への ブラッシング指導 (小児・齊藤桂子)	全身疾患を有す る小児の治療 (小児・齊藤桂 子)
2					専門英語 (小児・齊藤桂 子) (矯正・佐藤和 朗)
3	クラウンループ 保隙装置 (小児・齊藤桂子)	可撤保隙装置 (小児・齊藤桂子)	レジン充填 (小児・齊藤桂子)	フッ化物塗布 (小児・齊藤桂子)	症例分析と診断 ⑥ (矯正・佐藤和 朗)
4					

Week 7

	11/4(月)	11/5(火)	11/6(水)	11/7(木)	11/8(金)
1	振替休日	ダイレクトボンディ ング① (タイポドント実習) (矯正・佐藤和朗)	コース専門英語 試験 (矯正・間山寿代)	ダイレクトボンディ ング③ (タイポドント実習) (矯正・佐藤和朗)	自主学习 (出席確認なし)
2			口腔習癖と治療 (小児・橋口大輔)		先天異常と 不正咬合 (矯正・佐藤和朗) *
3		ダイレクトボンディ ング② (タイポドント実習) (矯正・佐藤和朗)	小児の外科的処置 (小児・橋口大輔)		症例検討会 (矯正・佐藤和朗)
4			自主学习 (出席確認なし)	B 肝 15:30~	(班別にSGL使用) (実習室使用なし)

Week 8

	11/11(月)	11/12(火)	11/13(水)		
1	障害者歯科学 最終試験 (障歯・菊池和子)	小児歯科学 実習試験(筆記) (小児・齊藤桂子)	歯科矯正学 最終試験 (矯正・佐藤和朗)		
2		小児歯科学 最終試験 (小児・齊藤桂子)	歯科矯正学 実習試験(筆記) (矯正・佐藤和朗)		
3			歯科矯正学 最終試験 解説講義		
4					